

K.S.J.

KAGAWA SHINREN JIHO
KAGAWA SHINREN KUMIAI BENGOKAI

香川県森連時報

28

平成29年7月発行(年2回/1月・7月)

特集

さぬき空港公園便り

森は地球の財産です。

JForest



特集

さぬき空港公園便り

さぬき空港公園は、高松空港に隣接する、67.8haの広さをもつ公園です。公園は、桜が多く植栽されている「カントリーゾーン」、噴水や芝生のグラウンドがある「ポートヒルゾーン」、広大な芝生の広場が広がる「アドベンチャーゾーン」、飛んでいる飛行機を真下から見る事ができる「スカイゾーン」、県下で唯一のグラススキーが楽しめる「グラススキー場」の5つのゾーンに分かれています。

ポートヒルゾーンにあるイベント広場は、誰でも無料で利用することができ、大変好評な広場となっており、600人参加のグラウンドゴルフの大会や幼稚園のミニ運動会、サッカークラブの練習場としてよく利用されています。グラススキー場は、全長200メートルの天然芝のゲレンデで、上級者になるとかなりのスピードを出せるようになります。また、当公園のインストラクターが無料で滑り方の指導を行っており、初心者にとっても安心してチャレンジすることができます。

本会は、平成24年度から5か年間、当公園の指定管理業務を行いました。5年間の実績として平成27年度は、本会が指定管理を行う前の平成23年度と比較して、来園者数で26%の増加、グラススキー場の利用料金等では、76%の増加を達成しました。また、毎年8月に開催される「真夏の雪遊び」や「夏休み宿題応援団」



真夏の雪遊び



夏休み宿題応援団

のほか、新型そり「ポッカール」の導入、噴水のイベント、オリエンテーリングや福祉施設と協力しての花壇の植え付け等に取り組みました。

これらの実績および新規の利用促進への提案が評価され、平成

29年度からの5年間、2期目の指定管理者に本会が再度選定されました。今後とも多くの県民の方にさぬき空港公園を知ってもらい、多くの来園者にさぬき空港公園を楽しんでもらえるようスタッフ一同鋭意努力してまいります。

さて、2期目の利用促進に係る提案として、グラススキー場でのマウンテンカートの導入や、星空観察会やアジサイ祭り等のイベントの新規イベントを予定しております。マウンテンカートは、すでに7月から導



マウンテンカート

入しており、利用者も徐々に増えてきております。マウンテンカートでグラススキーゲレンデの頂上から滑り降りると、速度が出て爽快な気分になります。また、星空観察会は、11月に開催を予定しております。さぬき空港公園は、周辺に民家もなく、上空が大きく開けているため、星空観測に最適で、多くの方に楽しんで貰えるイベントにしていきたいと考えています。アジサイ祭りは、これから公園内にアジサイを植栽し、3年後を目処に開催する計画としています。

この他、森林セラピー体験会や、視覚障がい者も参加できるグラウンドゴルフ大会の開催等のイベントも企画しています。

また、今まで開催していた「真夏の雪遊び」や「グラススキー感謝祭」、「噴水イベント」、「オリエンテーリング」も引き続き開催する予定です。今後も、魅力的なイベントを開催し県民サービスの向上に繋がるよう、スタッフ一同鋭意努力してまいります。



健康ミニマラソン



噴水イベント



報告 第67回通常総会開催



平成29年5月31日午前10時より、本会2階会議室において、浜田恵造香川県知事、五所野尾恭一香川県議会議長、宮本欣貞香川県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟会長、池本育利香川森林管理事務所長、樋口浩良香川県木材協会会長、大山智香川県環境森林部長、大屋雅彦全国森林組合連合会雇用・担い手対策部長、梶原直樹農林中央金庫高松支店四国営業部次長をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席のもと、第67回通常総会が開催された。

木村会長が挨拶の中で、平成28年度はイギリスのEU離脱問題やアメリカの大統領選挙でトランプ氏が選出されるなど、事前の予想を覆す波乱を含んだ年となったこと、国内では4月に熊本県で、10月には鳥取県で地震が発生し、さらに8月には東日本や北日本で台風による災害が発生し、甚大な被害が報告され、

改めて健全な森林を維持管理することの大切さを痛感したと述べた。さらに今年11月に開催される第41回全国育樹祭の開催に向けて、森を守り育てることの大切さを普及啓発しなければならないとの決意を表明した。

また、本会では森林・林業を取り巻く状況が変革期にある中で、積極的に各部門の事業量確保に努めるとともに、経費の節減に努めた結果、当初計画を上回る成果を挙げることができたことを報告し、今後とも会員各位のご協力並びに関係機関のご支援をお願いした。

続いて表彰が行われ、木村会長から表彰状と記念品が贈呈された。

感謝状	井上喜代文	香川県森林組合連合会
優良役員表彰	安藤 憲章	香川西部森林組合
優良作業班員	藤澤千賀子	香川東部森林組合
//	田中 平住	//
//	岩倉 秀和	香川県森林組合連合会

その後ご来賓の方々よりご祝辞を頂いた。

議事については、議長に大西洋造仲南町森林組合長が選出され、提出11議案すべて可決承認された。

引き続き、役員補欠選挙を行い、総会終了後直ちに理事会、監事会を開催し執行体制を審議した。新たに役員に就任した方を含む新執行体制は下記のとおりである。

新執行体制

代表理事会長	木村 薫	理事	田中 邦男
副会長 理事	三角 正博	理事	五所野尾 恭一
代表理事専務	道久 工	代表監事	眞部 康寛
理事	有馬 督治	監事	三宅 義明
理事	松浦 可稔	監事	辻 烈 (新)

報告 森林組合役員・職員研修会

平成29年2月8日（水）本会2階会議室において、県下森林組合の役員・職員を対象に、全国森林組合連合会常務理事の田中拓洋氏を講師に迎え、コンプライアンス研修を、また同連合会参事の富山 洋氏からは林業における労働安全についての説明を受けた。さらに午後からは同連合会組織部林政課担当課長の早瀬悟史氏による系統運動「森林・林業・山村未来創造運動」について研修会形式の講習会を開催し、それぞれの森林組合運動方針を作成した。



報告 産業廃棄物不法投棄の情報提供に関する協定書締結

香川県と本会を含む県内の4団体は、県内における産業廃棄物不法投棄の早期発見及び早期対応を図ることを目的として、産業廃棄物不法投棄の情報提供に関する協定を締結し、平成29年3月2日、県庁において合同締結式が行われた。締結式で浜田知事は「県の発展のため、豊島のような事件を起こさないことが行政の重要な課題であり、協定の締結は大変心強く、循環型社会の構築に努めたい。」と述べ、本会の木村会長は「この協定を締結することは我々のフィールドである森林の環境保全にもつながり、大変喜ばしいことである。本日協定を締結する皆様とともに産業廃棄物の早期発見と早期対応に努めさせていただく。」と挨拶を行った。

県ではこのほか、「不法投棄監視中」と記載したステッカーを配布し、協定を締結した団体の会員等の車両約4千台がステッカーを貼って走行することにより、不法投棄に対する未然防止効果も図ることとしている。



報告 平成28年度決算関係書類作成マニュアル説明会

全国森林組合連合会は、森林組合系統における決算業務に関する手続きをマニュアルとして示し、系統における活用と浸透を図るとして、平成29年3月6日～7日にかけて各都道府県の指導及び経理担当者を対象として説明会を開催した。これを受けて本会も平成29年3月15日、県内森林組合の経理担当者等を対象として決算マニュアル説明会を開催し、多数の職員が説明を受けた。全国森林組合連合会では今後森林組合の経理担当者を対象とした説明会を全国10ブロックにおいて開催する予定である。



報告 第68回全国植樹祭(富山県)

平成29年5月28日(日)天皇・皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、富山県魚津市魚津桃山運動公園において「かがやいて 水・空・緑のハーモニー」を大会テーマに第68回全国植樹祭が開催され、香川県下森林組合からは4名が参加した。

プロローグでは開催市である魚津市長の挨拶にはじまり、立川志の輔さんからのビデオレターの紹介、富山県内在住歌手のTomomiさんによる「煌～水の都から～」の歌唱、富山県洋舞協会330名による庄巻の創作舞踏により、富山県のダイナミックで豊かな自然や文化が披露された。

式典では天皇皇后両陛下が緑豊かな国土作りを目指してタテヤマスギなどの苗木を植え、エドヒガンなどの種をまかれた。

エピローグでは、森づくり活動に取り組む団体等がのぼり旗を持って勢揃いし、活動内容や富山の森にたいする思いが発信され、最後は全出演者が登場して「ふるさとの空」の大合唱が行われ、感動的なグラウンドフィナーレとなった。

報告 香川県漁協青壮年部連絡協議会による下刈り作業

平成29年6月17日(土)香川県漁協青壮年部連絡協議会による竹林伐採跡地の広葉樹植林地(さぬき市)において、漁協青壮年部有志が多数参加して下草刈り作業が行われ、本会からも多数の職員が参加した。

これは近年における瀬戸内海の低栄養塩化による漁場環境の変化により、漁業生産の継続が危惧されていることから、香川県漁協青壮年部連絡協議会が、森林と海の相互関係を重視し、荒廃している森林を豊かにすることにより、豊かな海を取り戻すため荒廃した森林を整備して広葉樹を植え、豊富な栄養が河川を通り海に流れ込むよう、志度湾に注ぐ河川の上流域ということで、平成25年からさぬき市の山林(さぬき市有林)において、侵入竹林を伐採し、その跡地に広葉樹の植樹に取り組んでいるもので、本会もこの活動当初から参加するなど積極的に協力を行っている。



参加者らは植栽したクヌギやヤマザクラを誤って伐採しないよう、長柄鎌や刈払機を使用して慎重に作業を行った。



第41回全国育樹祭シンボルマーク
みどりひろ丸

第41回

全国育樹祭

森を育てる豊かな暮らし 森が育む確かな未来

平成29年11月19日(日)開催 式典会場 香川県満濃池森林公園 (まんのう町)

